

【取組内容⑤】 Googleチャットを活用した修学旅行（班別学習）

Googleチャットの活用

①修学旅行の班別学習時に連絡手段としてチャットを利用した。
※昨年度までは、携帯電話を使い、緊急時の連絡手段として使用していた。

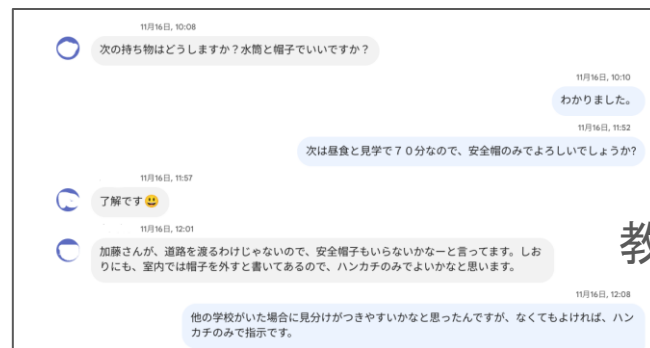
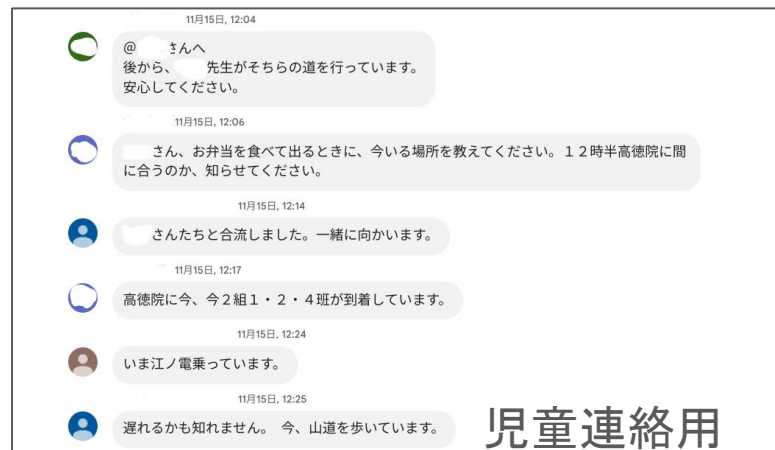
一人一台端末のChromebookを使うことで、事前に作成した行動表（スプレッドシート）や行動経路計画（Googleマップ）と併用し、チェックポイントに着いた際の連絡や道に迷った時にどの場所なのかを瞬時に確認し、連絡を取ることができた。

②教員連絡用チャットを使うことで、引率の教員同士や学校にいる教員へ連絡をすぐにとることができた。

◎効果

従来の携帯電話や紙の地図など複数の物を使わずに、端末1台で班別行動に必要な物をまとめて使用することができた。

チャット機能と他のアプリケーションを併用することで、詳細に情報共有し、的確な位置把握や緊急の連絡にも対応できた。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立江面小学校（埼玉県）

【取組内容①】自由進捗学習における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

◎Googleドキュメントとスプレッドシートによる

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

・ドキュメント活用し、班ごとの共同編集で「やまなし」の対比場面を整理した。

・宮沢賢治の他作品をドキュメントに載せて資料活用した。

◎スプレッドシートの活用

①座席表に自分のめあてのカタカナを入れることで、個人で学習したり、同じめあての人と話し合ったりしながら自由に課題に迫ることができた。

②児童の振り返りをシートにまとめることで、全員が自分のタイミングで友達の振り返りを見れるようにした。

③宮沢賢治の他作品を読んだ感想を一つのシートにまとめて比較し学びを深めた。

◎Classroom「授業」を活用することで、様々なアプリ（ドキュメント、スプレッドシート、スライド）を一つにまとめ児童の主体的な学びに繋げた。

6-1自分のめあて(学び方)を決めよう

取り組みの例

- ア 2枚の灯台の対比や、題名のつけ方から考える(振り返りの振り返りが中心)
資料: 5月と12月の灯台の対比(グループ)、学習の振り返り(友達とのシート)
- イ 宮沢賢治の生方、考え方や「やまなし」のつながりを考える
資料: 宮沢賢治年表 「イーハタツの夢」 宮沢賢治はどんな人(ジャムボード)
- ウ 宮沢賢治が他の作品を通して伝えたかったことに関連させて考える
資料: 「おきなくさ」 または 「めくらぶどうと虹」
- エ その他

名前	めあて	学び方
イ	イ	イ
深作	小川原	吉田奨
イ	イ	イ
谷田部	鈴木	松本
ア	イ	イ
磯本海	漢中	倉田
ア	イ	ア

ワークシート

提出済み 0 残り待ち済み 23

6-1 2枚の灯台で伝え...	6-1 (雨ニモマケズ)
6-1 おきなくさ	6-1 めくらぶどうと虹...
6-1 「やまなし」振り返...	6-1 宮沢賢治の作品を...

1班 「五月」と「十二月」の対比

「五月」と「十二月」の明確な対比をさせるとともに、	「十二月」の登場
青く輝く朝のように見える	朝の朝陽
おのれに思っている	朝の朝陽
目的の達成が夢のように夢の中に現れてきた	水や朝の朝陽

6-1 「やまなし」振り返りカード

名前	振り返り
1	...
2	...
3	...
4	...
5	...
6	...
7	...
8	...
9	...
10	...
11	...
12	...

ワークシート

8
9
10
11
12
1
2
3